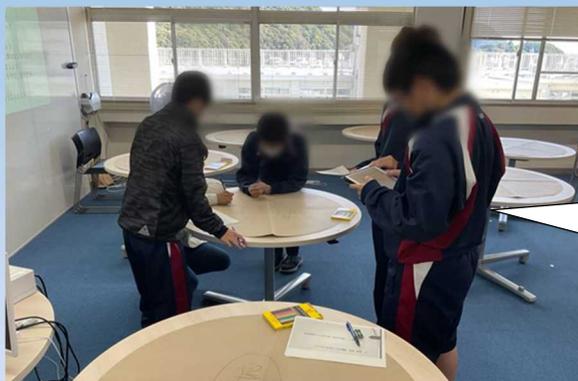


CASE 03 | 高校通級による指導での事例

【コミュニケーション×タブレット】 「自分に合うアプリを見つけたい」



タブレットなどで調べたことを情報交換しながら紙に書き出している。

○子どもの願い

- ・自分に合うアプリを見つけたい。
- ・初対面の人ともコミュニケーションが取れるようになりたい。
- ・人の話を最後まで聞けるようになりたい。
- ・グループ学習に参加できるようになりたい。

○対象の子どもの実態

- ・会話が一方的でその場の雰囲気を理解しにくい。
- ・自分の言葉で説明することが苦手である。
- ・大勢の前でコミュニケーションを取ることが苦手である。
- ・スマートフォンアプリを使うことが好きである。
- ・曖昧な表現がわかりにくい。

○指導する自立活動の区分・項目

区分:コミュニケーション 項目:コミュニケーション手段の選択と活用に関する
こと。

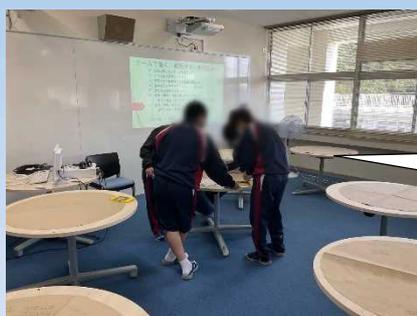
区分:人間関係の形成 項目:他者とのかかわりの基礎に関すること。

○目標

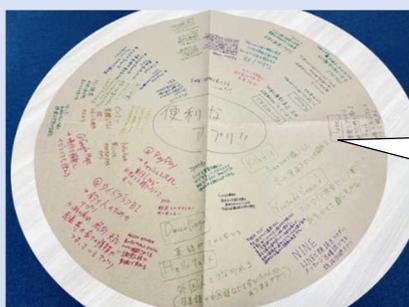
- ・グループで考えを出し合う場面を設け、コミュニケーション力を身につける。
- ・わからないことがある時は、周りの人に質問したり、自分でタブレットを使い、調べたりすることができる。
- ・周りの人の考えや意見を参考にして、自分の考えを相手に伝えることができる。
- ・周りの状況等に応じた行動をとることができる。

○指導内容

- ・自分の好きなことやすべきことに役立つアプリをタブレットで調べる。
- ・調べたことを友だちと情報交換しながら紙に書き出す。
- ・実際にアプリを操作して発表をする。
- ・みんなの発表を聞きながら印象に残ったことがあればメモを取る。



机上有る紙に
友だちと書き込む。



テーマを真ん中に
書いてその周りに
自分の考えを書き
出していく。

○使用 ICT 機器: パソコン(本校:指導者) タブレット(通級を受ける生徒)
スマートフォン

○取り組む上で工夫したことや困ったこと

①事前の情報収集について

- ・日頃から教員が子どもとの何気ない会話の中から子どもが興味をもっていることやスマートフォンの活用状況などについて情報収集を行い、授業づくりの参考にした。

②授業場面での工夫について

- ・タブレット操作の説明をする際、子どものタブレット画面と同じ内容をプロジェクターで提示することで子どものわかりやすさにつなげた。
- ・アプリの紹介だけではなく、アプリを選んだ理由やアプリを活用することでどのようなメリットがあるのかを考える場面を設けた。

③事前にしておく必要があることについて

- ・インターネットの接続状況が悪い場合の対応について、事前に校内で連携しておく必要があった。

○【成果】子ども・教員等の変化

(子ども)

- ・タブレットの視覚的な情報を手がかりに周りの人に具体的な質問をすることが増えた。
- ・自分からタブレットで検索をして問題を解決しようとする習慣が身についてきた。
- ・アプリの情報交換を通じて、友だちとたくさん会話ができるようになった。

(教員)

- ・タブレット等を効果的に使い、視覚的な提示をすることで子どもの発言がよりテーマに沿ったものになった。
- ・プロジェクターで提示することにより、板書時間を省くことができ、子ども同士がコミュニケーションをとったり、学習の振り返りをする時間を以前より多く確保したりすることができた。
- ・子どもが得意なことを通じて、ライフスキルの向上に繋がれることがわかった。

○今後、自立活動に ICT 機器を活用する教員へのメッセージ

ICT 機器の操作等について子どもたちの方が知っていることも多い。教員が子どもに教えるだけでなく子どもの知っていることを上手く引き出して、子ども同士で試行錯誤したり、協力して ICT 機器の操作を身につける場面を設けたりすることは、自立活動と ICT 活用の両方の学びに繋がると考える。

また、直接話すことに抵抗のある生徒同士でも、コミュニケーションを取る方法として様々な工夫(オンラインでの会話や写真や文字を画面に見せて伝えることや、チャット機能の活用など)ができることがわかり、自信を持って取り組むことが増えた。

その他の取組紹介

【初対面の人とのコミュニケーション体験1】

- ・他県からの来校者へ事前にタブレットで調べたことなどについて質問をした。



【初対面の人とのコミュニケーション体験2】

- ・他校の高校通級指導受講生徒との交流を行った。
- ・事前に他校についてタブレットで調べたことを質問したり、自分の得意や興味のあることについて相手に伝えたりした。



【オンライン接続体験】

- ・接続画面の背景を変更することでプライバシー保護ができる体験を行った。
- ・子ども7人が各教室に分散してリモートの接続体験を行った。
- ・話すことが苦手な子どもがリモートのチャット入力で会話ができることを体験した。

